

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
4年後期	4	2	選択必修
担当教員			
建築学科全教員			
添付ファイル			
講義概要	・学生が選択した建築に関する主題（テーマ）について、卒業研究1に続いて開講されるもので、それぞれの研究主題に基づく卒業論文を執筆、提出し、卒業論文発表会における発表や質疑応答を通じて、未知の問題・課題を調査・解決する手法およびその提示方法について習得する。 ・論文を通じて通じて建築学の専門領域に関する研究を推進し、研究の本質について理解する。 ・各自の卒業研究について最終報告を行い、学内外の教員や学生同士と討議を行う。		
授業計画	各研究室の指導教員がそれぞれの方法で実施する。		
授業形態	・卒業研究の進め方やスケジュールは、指導教員と各人の相談のもとに決める。 ・アクティブラーニング：④⑤⑥に該当する。		
達成目標	a. テーマに関して自主的な勉学ができ、それまでに修得した専門知識を活用することができる。 b. テーマに取り組む過程で生じた問題を自主的に解決することができる。 c. テーマの成果を表現し、テーマの目的、方法、考察、結論などについて論文としてまとめることができる。 d. まとめた結果を限られた時間内にプレゼンテーションにより他者に伝え、質疑にも答えることができる。		
評価方法・フィードバック	・研究の活動70%、本審査30%割合で総合評価する。日常活動の評価は指導教員が行い、その中には論文の作成も含むものとする。本審査では、研究発表と卒業論文について審査する。 ・フィードバックについて 【作成段階】卒業研究の進捗状況に応じて、随時フィードバックを行う。 【卒業研究発表会時】質疑応答の時間に必要に応じてコメントする。 【卒研提出後】WEBポータル「ディプロマサプリメント」上で、ディプロマポリシーの達成状況をレーダーチャートにして表示する。		
評価基準	・成績は「合格」または「不合格」とし、総合点が100点満点で60点以上の者に単位を与える。		
教科書・参考書	・各専門分野の文献ならびに指導教員が配布する資料		
履修条件	・「卒業研究1」が履修済であることを必須とする。		
履修上の注意	・各研究室の指導教員の指示による。		
準備学習と課題の内容	・研究内容について予め確認し、概要を把握しておくこと。準備学修時間は「セミナー3」参照すること。		
ディプロマポリシーとの関連割合（必須）	知識・理解:20%, 思考・判断:30%, 関心・意欲:10%, 態度:20%, 技能・表現:20%		
DP1 知識・理解			
DP2 思考判断			
DP3 関心意欲			
DP4 態度			
DP5 技能・表現			